

残暑お見舞い申し上げます。室内でお過ごし
のことが増えたでしょうか？家や図書館で
眠っている本などを読むチャンスかもしれません。
右の音楽CDは、特殊な装置を使って植物
のエネルギーとシンセサイザーなどから生
み出された不思議な音楽です。グロッセ氏が
アドバイザーです。



本や論文のリクエストや質問などお気軽に
メールでおよせください
tosyo@awaji.ac.jp

視聴覚資料は原則館内で
利用してもらうのですが
学校内で視聴可能です
本に付属のものは貸出可

A 図書館：視聴覚資料 (audiovisual materials)とは画像、映像、音声など文字以外の表現方法で主に記録された図書館資料の事です。当館にはビデオディスクやCD-ROM,DVDを中心に1000点以上世界や日本の紀行や絶景、ループルや日本の各美術館、京都の美、高山植物図鑑、生命、野鳥、ピオトープ、世界の庭園、語学資料など多岐にわたって所蔵しております。DVDは白洲正子やポールスミザー、ベニシア、ターシャなどありますが さらに増やしていきますのでどうぞリクエストください。



B 図書：M氏推薦の「世界の庭園歴史図鑑」は476pの豊富な写真、挿絵、解説が3千年の庭園の世界へ時空をこえていざなってくれます。シャンティイ(フランス)の庭はル・ノートルの傑作だそうだがかつて訪れたシャンティイ城は印象深く姫路城と姉妹城です。6章では植物学者や植物園、植物園が登場し、11章で日本庭園が登場します。翻訳は神戸大学農学部出身の上原ゆうこ氏が担当されています。



昨年秋「Five Seasons」の上映会が開催
されましたが、その植物の魔術師Piet
Oudolf(ピートアドルフ氏)の本を何冊か
取り寄せています。「Dream Plants for
the natural garden」では1200以上の
丈夫な宿根草、グラスを中心に大きな写真
付きで紹介されています。

**C 雑誌：「ナショナルジオグラフィック日本
語版の2020年8月号」**のテーマは”パ
ンデミック” 同出版社からは書籍も発行され
20の伝染病が世界地図と共に掲載されてい
ますが、雑誌は天然痘、ペスト、コレラ、ポ
リオ、エボラ出血熱がとりあげられていま
す。いつかパンデミックが終息しても起こっ
たことを忘れないようにと記されています



科学雑誌「ニュートン」最新号(2020.9)
のテーマは”ベイズ統計超入門” 新型コロナ
ウィルスのワクチン開発、キノコの世界
についての記述や”みんなの「古い」講
座”の連載もあります。「バイオシティ
BIOCITY」ではグリーンニューディールの
提案や雨水デザインやSDGsの特集などが
あり地球規模で物事を考えるきっかけにな
ります。

**D 他の館：奇跡の星の植物館 (The
Plants Museum of Miracle Planet)**はジャ
パンフローラ2000に淡路夢舞台で開館さ
れ、20年にわたって6展示室(プランツギャ
ラリー、トロピカルガーデン、花と緑のある
くらし、癒しの庭、フラワーショースペ
ース、シダルーム)アトリウムで季節に
合わせた植物の競演や各種イベントが行わ
れておりカフェやショップもあります。野
外ガーデンではバラやキッチンガーデンが
登場しています。



2020. 9.
13まではト
ロピカルガ
ーデンショ
ー
熱帯の珍種
植物が登場

季節ごとや世界の国々の新しいテーマで5
感を満たしミラクルを感じるデザイン性の
高い植物展示、ライフスタイルの提案、土
壁・瓦・竹等を利用した伝統も考慮した和
の空間等バリエーションに富んでいます。フ
ラワーショースペースは、ホワイトクリス
マスや音楽、ダンス、ウェディングにも利
用され、外国からの研修生やサポーターも
活躍されています。当校に当館の養生温室
があります。

**E質問：先日1人の学生さんから植物の種類の
質問がありました。百科事典掲載の数も一部
調べてみました。最近購入した「英国王立園
芸協会とのしむ植物のふしぎ」は、Q&A
で1~2ページで質問に答える形式の本で
す。”植物はぜんぶで何種類？”という問い
があり答えでは、国際植物名目録ともう一つ
のデータベースについての記述があり予想数
がのっています。是非ご覧ください。**



同書に”植物にも寿命があるの？”という
質問があります。500年くらいが多いそ
うですが世界最古の木らしいのが アメリ
カネヴァダ州の砂漠に生息するブラッス
ルコーンバイン (Pinus longaeva)で年輪が
4900あったそうです。著者は、英国王
立園芸協会 (RHS)の園芸チーフアドバ
イザーGuy Barter (ガイ・バーター) 氏。
130の質問にわかりやすく答えてくださ
っています

編集後記：今年は終戦から75年。今まで未公開だったシーンもテレビで紹介されています。アウシュビッツの収容所の土中に埋められたメモが、奇跡的に残っていて最新の技術で解読されたといわれています。死を覚悟してのメッセージ深く受け止めたいです。